

事業計画書

<p>団 体 名</p>	<p>特定非営利活動法人ハーモニークラブ</p>				
<p>事 業 名 称</p>	<p>えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業</p>				
<p>事業実施期間</p>	<p>(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日</p>				
<p>1. 事業の目的</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="308 595 395 1106"> <p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p> </td> <td data-bbox="395 595 1452 1106"> <p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) ・日本人の幸福度が低い原因の一つに、自己肯定感が低いと言われていた。 (2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) ・親の自己肯定感の低さが子どもに影響することに気づき、子どもだけでなく親や周りの大人も自分を肯定的に捉える機会を提供したいと考えたため。 (3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) ・親や周りの大人は子どもへの肯定的な関わりが不足している。(価値観の負の連鎖) (4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) ・幼少期的人格形成の基礎となる時期に、ありのままの自己を受け入れ、他者のありのまま認め合える心の豊かさを育める場をつくる。 ・保育の質の向上や新たな保育の担い手を応援する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="308 1106 395 1630"> <p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p> </td> <td data-bbox="395 1106 1452 1630"> <p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) ・子どもも大人も一緒に楽しみながら、体験を通して自己肯定感を育くみ、「ありのままに生きる」大切さを考えるきっかけにしてもらうことを目的とする。 (6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 ＜枚方市民への効果＞(誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代及び保育に携わる人が、えほんライブの音楽や物語に癒され、自分を肯定的に捉える心のゆとりが生まれる。 ・地域交流が促進され、子育ての孤立を防ぎ育児の負担感が軽減できる。 ＜確認方法＞(参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) ・参加者にアンケートを実施し、ヒアリングを行う。</p> </td> </tr> </table>	<p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p>	<p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) ・日本人の幸福度が低い原因の一つに、自己肯定感が低いと言われていた。 (2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) ・親の自己肯定感の低さが子どもに影響することに気づき、子どもだけでなく親や周りの大人も自分を肯定的に捉える機会を提供したいと考えたため。 (3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) ・親や周りの大人は子どもへの肯定的な関わりが不足している。(価値観の負の連鎖) (4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) ・幼少期的人格形成の基礎となる時期に、ありのままの自己を受け入れ、他者のありのまま認め合える心の豊かさを育める場をつくる。 ・保育の質の向上や新たな保育の担い手を応援する。</p>	<p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p>	<p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) ・子どもも大人も一緒に楽しみながら、体験を通して自己肯定感を育くみ、「ありのままに生きる」大切さを考えるきっかけにしてもらうことを目的とする。 (6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 ＜枚方市民への効果＞(誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代及び保育に携わる人が、えほんライブの音楽や物語に癒され、自分を肯定的に捉える心のゆとりが生まれる。 ・地域交流が促進され、子育ての孤立を防ぎ育児の負担感が軽減できる。 ＜確認方法＞(参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) ・参加者にアンケートを実施し、ヒアリングを行う。</p>
<p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p>	<p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) ・日本人の幸福度が低い原因の一つに、自己肯定感が低いと言われていた。 (2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) ・親の自己肯定感の低さが子どもに影響することに気づき、子どもだけでなく親や周りの大人も自分を肯定的に捉える機会を提供したいと考えたため。 (3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) ・親や周りの大人は子どもへの肯定的な関わりが不足している。(価値観の負の連鎖) (4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) ・幼少期的人格形成の基礎となる時期に、ありのままの自己を受け入れ、他者のありのまま認め合える心の豊かさを育める場をつくる。 ・保育の質の向上や新たな保育の担い手を応援する。</p>				
<p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p>	<p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) ・子どもも大人も一緒に楽しみながら、体験を通して自己肯定感を育くみ、「ありのままに生きる」大切さを考えるきっかけにしてもらうことを目的とする。 (6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 ＜枚方市民への効果＞(誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代及び保育に携わる人が、えほんライブの音楽や物語に癒され、自分を肯定的に捉える心のゆとりが生まれる。 ・地域交流が促進され、子育ての孤立を防ぎ育児の負担感が軽減できる。 ＜確認方法＞(参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) ・参加者にアンケートを実施し、ヒアリングを行う。</p>				
<p>2. 事業内容等</p>	<p>(1) 事業の対象者(例:枚方市内に住む10代から20代の人など具体的に) ・枚方市内の幼児と親、保育園児、保育士など教育関係者、地域一般の人 (2) 事業の実施場所(移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) ・おやこ広場とんとんとん(岡本町会館) ・五六市(岡本町会館及び付近の会館等) (3) 事業内容 ・えほんライブや体験型活動を組み合わせ、親子のふれあい遊びを無料実施 (えほんライブ:絵本と音楽が一体となったオリジナルのライブ作品) (体験型活動:音楽や工作、体を使った簡単な遊び、絵本の読み聞かせ等)</p>				

<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやこ広場とんとんとん(年間3回程度実施) ・五六市(年間2回程度実施) <p><1回のスケジュール></p> <p>事前準備:開催前月に会議出席、SNS等広報、リハーサル、材料や資料の準備</p> <p>実施当日:9:30 会場設営開始、10:00 開場</p> <p>10:30 えほんライブや体験型活動の実施</p> <p>12:00 片付け、撤収</p>
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(1) 人員体制 (実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマー及びスタッフ1回あたり4名程度配置(正会員、パフォーマー養成講座受講者)、学生ボランティア数名(保育士を目指す学生等) <p>(2) 事業対象者の見込み数 (例:参加者●名など現時点の想定人数を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやこ広場とんとんとん(年間3回程度実施) 参加者延べ約70名(各回あたり地域親子約20~30名) ・五六市(年間2回程度実施) 参加者延べ約50名(各回あたり地域親子約20~30名) <p>(3) その他の体制 (寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること)</p> <p>連携団体:ひらかた子育て支援ネットワーク(おやこ広場とんとんとん主催)、 一般社団法人枚方宿くらわんか五六市(五六市主催)</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財源の確保策として、有料公演及び寄附や助成金活用を検討する。 ・賛同者の確保策として、市内のイベントの参加や保育サロンの実施、ボランティア体験を積極的に受け入れ、活動の理解と継続意欲を促す。
<p>6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度から枚方市NPO活動応援基金の支援を受け、親子広場やイベントでの上演、保育サロン、小学生のパフォーマンス体験型コンサート等によって、活動内容の充実や認知が広がり、保育園等からの有料公演依頼の増加につながっている。 ・今後は、当基金で支援を受けた活動を継続的に実施し発展させるとともに、それらを支える資金集めを寄附ガチャやマンスリーサポーター制度の導入など工夫していく。また、これからも保育に興味のある学生を積極的に受入れ、保育の担い手支援とともに、保育園と学生とをつなぐ役割を目指す。
<p>7. 事業のPR方法</p>	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)</p> <p>当団体の SNS(ホームページ、LINE、Facebook、ブログ、インスタグラム)から情報発信し、認知の拡大を図る。イベントでチラシやパンフレットを配布する。</p>
<p>8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定</p>	<p>助成金等の予定 有り(申請中を含む) ・ <input type="checkbox"/> 無し (本補助金のみ)</p> <p>助成金等の名称 ()</p> <p>申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和 年 月 頃の見込み)</p>
<p>9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当団体のえほんライブはオリジナル作品であり、作品の世界観が自己肯定感を育む内容になっていて、作品理解によって肯定感が深まる気づきが得られ、心の安泰を導く道標となっている。

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人ハーモニークラブ

補助対象事業の名称：	えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業
------------	---------------------------

事業実施期間： 令和8年 4月～ 令和9年 3月

【収入の部】

項 目 ※1	予算額(円)	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般) (A)	0	補助金交付申請額 (一般寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	20,000	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	58,000	会員費、寄附
合 計 (C)	78,000	

【支出の部】

項 目	予算額(円)	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	人件費	60,000	えほんライブと体験型活動(5回程度)@3,000×4人×5回=60,000円
	交通費	15,000	交通費(5回程度)@1,000×3人×5回=15,000円
	消耗品費	3,000	工作材料代@600×5回程度=3,000円
小 計	78,000		
補助対象外経費			
小 計	0		
合 計 (D)	78,000		

- ※1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。
- ※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)
- ※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
(通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)